

# 東洋ビューティ

## 大内 利夫 常務取締役 営業本部長

化粧品OEM大手の東洋ビューティ（本社大阪府、瀧見良平社長、☎06-6241-2121）は5月15日、化粧品の新工場の建設計画を発表した。佐賀県神埼市に敷地面積約4万平方メートルの工場を建設する予定だとしており、建物・設備の投資額としては50億円を見込んでいくという。同社の大内利夫常務取締役営業本部長に、新工場の建設計画について話を聞いた。

——佐賀に新工場を建設するということだが。

大内 佐賀県神埼市に、化粧品の新工場を建設する。名称は「東洋ビューティ佐賀工場（仮称）」を予定している。敷地面積は3万9378平方メートル。建物面積は1万3000平方メートルを予定。詳細な構造はまだ決めていないが、おそらく2階建になりそうだ。建物・設備

大内 初年度にあたる20年4月期の売上高としては、新工場だけで37億円を見込んでいる。ただ

4月期は、既存工場からの配転20人を含め90人の人員を配置する予定。5年後には135人を置く

見通しだ。佐賀県が推進するコスメティック・クラスター構

想に賛同し、地域経済の活性化に貢献する——の4点を挙げている。①のBCPについては、現在

ア圏を中心に海外ビジネスの拡大を進めていく③円滑な操業について、佐賀県および神埼市の多大なる支援が期待できる④佐賀県が推進するコスメティック・クラスター構



工場建設地として佐賀を選んだ理由は。大内 別の複数の

建設候補地の中から、佐賀・神埼市を選んだ。進出理由としては、①BCP（事業継続計画）を考慮し、生産拠点を東日本・中部・西日本の各エリアに分散させ、より安定供給可能な体制をとる②

九州地域での営業拡大などは考えているか。また、新工場には営業拠点も置く予定はあるか。大内 新工場に営業拠点を置く計画はない。また、新工場の竣工は九州地域の営業開拓を意識し

# 佐賀に敷地面積4万平米の新工場建設

この売上高には、既存の工場から移し替える分も含まれている。稼働5年目に当たる24年4月期には売上高74億円の達成を計画している。

大内 17年11月に着工し、18年12月の竣工を予定している。19年1月に操業を開始する予定だ。売上高の計画は。

大内 操業当初の20年

中国、東南アジアとアジ

にはあるが伸びてきて

たものではなく、今のところ、九州地域だけをターゲットに営業を拡大させる考えはない。

——新工場での生産品目は、他の工場と違うところはあるか。

大内 他の工場と生産品目を変えることは考えていない。

——新工場はどのような方向性で設計を行っていくのか。

大内 まさにその部分について、全社員を対象に「どのような新工場にすべきか」を聞く社内アンケートを実施した。福利厚生、生産設備、外観など幅広い観点からさまざまな意見が寄せられた。こうした意見に耳を傾けながら、方向性を決めていくことになるだろう。できるだけ省人化・自動化を図るよう、工夫をしていきたいとも考えている。